

木造 弥勒菩薩半跏像 模造

奈良県中宮寺 所蔵

近畿日本鉄道(株)

国宝

彫刻・模造

漆で彩色してから、アクリル絵の具で微調整。漆にかぶれながら、二人で彩色した。



中宮寺の国宝、木造弥勒菩薩半跏像。本像の模造は1990年のセビリヤ万博への出展を契機に計画されたものです。現資料は一部彩色が残っているため、表面への接触を伴う型取技法は適用できず、実測と観察に基づく模造製作を行いました。海外へ搬送して展示されるという条件を考慮し、最終製品は合成樹脂製とし、仕上げ彩色材料には、質感・表現を重視して漆とアクリル塗料を併用しています。模刻という作業は原資料の再現ではありますが、ただ正確に寸法を写すだけでは実現できません。元の仏師の造形感覚を把握し、模刻者自身の個性を抑えて、いわばその仏師になりきるような過程が要求され、いかに深く像に反映された感性を捉えるかが成功の鍵を握ります。本像は、明治以来くり返し様式上の議論を呼んできたものでもあり、形の考察には慎重を期しました。

KYOTO KAGAKU CO.,LTD
Preservation and Restoration of Cultural Property

tel.075-605-2510
fax 075-605-2519
rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

<http://www.kyotokagaku.com/jp>
rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp